



ISO9001 審査登録

ISO14001 審査登録

石原薬品は、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」、及び環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得し、これらをツールとして品質・環境に万全の維持管理を行なっています。

規 格	事 業 及 び 製 品 の 範 囲
<b>ISO9001</b> (1999年審査登録)	1. 電子工業向けめっき用薬品、めっき用各種添加剤、表面処理剤及び表面処理液分析用試薬 (管理装置用分析試薬)の開発、製造、製造委託管理並びに販売 2. 機軸性材料(マシナブルセラミックス、ポリイミドエンジニアリングプラスチック・カーボン等)の仕入販売/同材料の加工、委託加工管理並びに営業業務 3. 電子材料(ニッケル超微粉等)の仕入販売並びに電子材料(無機蛍光体等)の開発
<b>ISO14001</b> (2003年審査登録)	全事業及び全製品

第 69 期

## 中間報告書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

### 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社(〒541-8502) 大阪証券代行部 ☎(通話料無料) 0120-094-777
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、 次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインター ネットでも24時間承っております。 ☎(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>
公告掲載方法	電子公告により行う。 なお、電子公告は、当社のホームペー ジに掲載しており、そのアドレスは次 のとおりです。 <a href="http://www.unicon.co.jp/">http://www.unicon.co.jp/</a>

石原薬品株式会社



株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成18年9月30日をもって、第69期の上半期を終了いたしましたので、ここにその事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆さまのご期待に応えるべく、業績の向上に全力を傾注する所存でございますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成18年12月

代表取締役社長 **竹森莞爾**

当中間期におけるわが国経済は、企業の設備投資意欲と個人消費の増勢に支えられ景気は安定的な持続力を示しました。このような状況のもと、当社は、電子関連分野の金属表面処理剤及び工業薬品分野を中心に販売は好調に推移いたしました。当中間期の事業分野別の概要は次のとおりであります。

### (電子関連分野)

当社が対応しております電子部品業界は、世界的な薄型テレビ、携帯電話、パソコン等の市場拡大持続を背景に生産、内需、輸出とも増勢ではありますが、サッカー・ワールドカップ商戦が不発気味だったことから薄型テレビの出荷に変調が見られ、液晶関連を中心に電子部品・デバイスの在庫が積み上がるという状況が見られました。このような状況のもと、当社の電子関連分野の各事業は、金属表面処理剤、機能材料加工品、化成処理液自動管理装置等は好調に推移しましたが、ニッケル超微粉は前年同期を下回る状況となりました。電子関連分野全体の売上高は、4,499百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

#### ① 金属表面処理剤

IC、チップ部品、コネクター等の電子部品外装めっき液は、液晶関連で一部に生産調整の影響があった部分もありますが、電子部品、デバイスの生産は総じて伸びを示しており、販売は全般的に堅調に推移しました。鉛フリーめっき液の販売は、国内、海外とも前年同期を上回る状況で推移しましたが、全体的には鉛フリー化も一段落してきた状況となりました。

金属表面処理剤の売上高は、2,936百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

#### ② 電子材料及び機器

ニッケル超微粉の販売は、ユーザーの購買政策変更に伴う影響が当上期まで残り前年同期を大きく下回りました。機能材料加工品は、液晶製造装置向けや医療用機器向けの需要が堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。また、化成処理液自動管理装置は、対応するプリント基板業界、フラットパネル業界等において製造ライン増設の動きがあり、化成処理液自動管理装置の引き合い、受注は、プリント基板、プラスチックパッケージIC、機能めっき向けを中心に好調に推移しました。また、同装置用の試薬も装置導入の増加に伴い需要も増え販売は好調に推移しました。これらを合わせた電子材料及び機器全体の売上高は、1,562百万円（前年同期比32.8%減）となりました。

### (自動車用品分野)

当社が対応しております自動車用品業界は、車両本体の品質向上による自動車用ケミカル品の使用量の減少、カーメーカー系列の部品販売会社等によるカーアフターマーケット商圏の取り込み強化、補修市場規模の縮小傾向など、部品、用品販売は厳しい状況が続きました。このような市場の状況のなかで業務用ケミカル品を中心に展開しましたが、全般的に低迷しました。自動車用化学製品分野の売上高は、718百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

### (工業薬品分野)

当社が対応しております鉄鋼業界は、自動車、造船、産業機械向け鋼材など旺盛な需要が続きました。このような状況のもと、鉄鋼向け薬品は、製鉄所のフル生産体制を受け使用量が増加し販売は引き続き好調に推移しました。また、環境・公共事業体関連向けの産廃処理、臭気対策等の環境関連薬品も好調に推移しました。工業薬品

## 業績の推移

分野の売上高は、2,197百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

この結果、当中間期の売上高は、7,415百万円（前年同期比2.8%減）となり、営業利益は、975百万円（前年同期比19.0%増）、経常利益は、996百万円（前年同期比18.1%増）となり、中間当期純利益は、602百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

### （通期の見通し）

今後の経済の見通しは、企業収益の拡大が続くなか、設備投資意欲が根強いこと、雇用改善の動きなど内需拡大が続くものと見られます。一方、好調な米国経済の減速懸念やそれに伴う輸出の増勢鈍化、IT分野の在庫調整懸念などの不安材料も予測されます。

当社が対応する電子関連分野においては、デジタル家電や精密機械は引き続き好調を維持するものと思われまます。また、クリスマス商戦に向け薄型テレビの販売拡大やデジタルカメラの買い換え需要で好調が予想され、これらに向け電子部品、デバイスの生産、出荷が伸びるものと思われまます。これらに対応して各種の電子部品の外装めっきラインの補充充分売上の確保とフリップチップ実装に対応したパンプ形成用めっき液、液晶駆動回路関連のTAB、COF対応めっき液の拡販に取組んでまいります。

電子材料及び機器は、機能材料加工品、化成処理液自動管理装置の事業において、医療用機器、液晶関連、プリント基板等の各分野で、ユーザーの設備投資需要を確実にフォローし受注に結び付けてまいります。

自動車用品分野は、業務用自動車ケミカルを中心に販売に力を入れ、前年度並みの売上確保を目指します。

工業薬品分野は、旺盛な需要のある鉄鋼業界向けを中心に営業展開するとともに環境関連向け薬剤の取扱高の拡大もはかかってまいります。これらの事業活動によって、平成19年3月期の業績は、売上高14,700百万円（前年比2.1%減）、経常利益1,940百万円（前年比4.8%増）、当期純利益1,180百万円（前年比6.2%増）を見込んでおります。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり18円とさせていただきます。

株主の皆さまのご協力に厚くお礼申しあげますとともに、今後ともご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

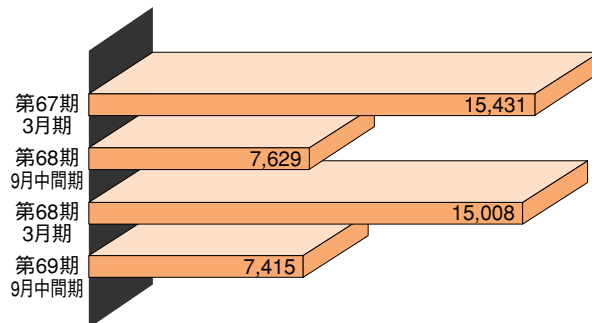
### 営業品目別売上高

（千円未満切捨表示）

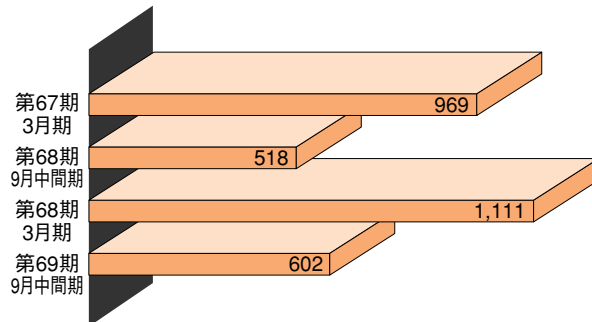
期別 部門	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)		前中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)		前期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
金属表面処理剤	2,936,542	39.6	2,670,958	35.0	5,699,258	38.0
電子材料及び機器	1,562,884	21.1	2,326,405	30.5	4,064,337	27.1
（電子関連分野計）	(4,499,426)	(60.7)	(4,997,364)	(65.5)	(9,763,596)	(65.1)
自動車用化学製品	718,495	9.7	753,026	9.9	1,381,723	9.2
工業薬品	2,197,598	29.6	1,878,723	24.6	3,862,936	25.7
総計	7,415,520	100.0	7,629,114	100.0	15,008,256	100.0

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

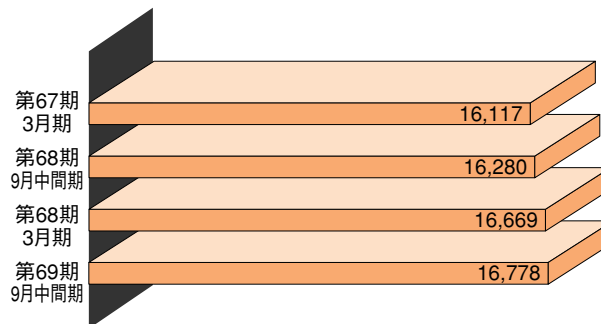
### ●売上高（百万円）



### ●中間（当期）純利益（百万円）



### ●総資産（百万円）



## 比較中間貸借対照表

(千円未満切捨表示)

期 別 科 目	当中間期	前 期	前中間期
	(平成18年9月30日現在) 金 額	(平成18年3月31日現在) 金 額	(平成17年9月30日現在) 金 額
(資産の部)	千円	千円	千円
流動資産	7,985,715	8,187,809	8,891,629
現金及び預金	2,669,352	3,041,881	3,275,435
受取手形	1,133,980	1,083,484	989,647
売掛金	3,133,822	3,019,237	3,375,605
有価証券	—	—	116,089
商品	269,725	323,041	333,749
製品	362,629	334,458	410,421
原材料	186,698	188,462	193,144
仕掛品	73,258	65,919	61,246
貯蔵品	10,507	9,458	9,740
前払費用	43,791	14,744	23,009
繰延税金資産	99,703	97,777	102,931
その他の流動資産	5,665	12,632	4,978
貸倒引当金	△ 3,418	△ 3,288	△ 4,369
固定資産	8,793,231	8,481,574	7,388,704
有形固定資産	2,925,532	2,688,606	2,506,953
建物	1,989,641	1,374,302	1,420,026
構築物	97,839	69,718	64,475
機械装置	265,584	275,108	295,822
車両運搬具	148	185	222
工具器具備品	138,824	97,459	103,392
土地	432,678	432,678	432,678
建設仮勘定	815	439,154	190,335
無形固定資産	5,928	7,161	6,464
特許権	406	453	499
ソフトウェア	5,289	4,155	3,411
電話加入権	232	2,553	2,553
投資その他の資産	5,861,770	5,785,806	4,875,287
投資有価証券	5,120,280	5,066,397	4,156,775
出資金	1,230	1,230	1,230
長期貸付金	7,290	8,311	9,691
破産債権、再生債権、更生債権その他これらに準ずる債権	3,168	3,168	13,815
長期前払費用	21,515	20,042	17,286
保険積立金	439,079	416,792	420,073
敷金保証金	176,454	177,115	174,858
その他の投資	96,575	96,575	96,575
貸倒引当金	△ 3,823	△ 3,825	△ 15,016
資産合計	16,778,947	16,669,384	16,280,333

(千円未満切捨表示)

期 別 科 目	当中間期	前 期	前中間期
	(平成18年9月30日現在) 金 額	(平成18年3月31日現在) 金 額	(平成17年9月30日現在) 金 額
(負債の部)	千円	千円	千円
流動負債	4,031,864	4,203,206	4,291,107
支払手形	1,179,873	1,207,103	1,112,455
買掛金	1,692,620	1,731,173	2,033,410
1年以内返済予定長期借入金	134,940	184,442	218,954
未払金	99,948	120,435	143,349
未払法人税等	401,722	396,999	338,643
未払消費税等	16,631	37,213	29,578
未払費用	17,370	17,120	19,547
前受金	12,132	1,462	5,379
預り金	26,040	29,382	16,074
賞与引当金	143,854	136,735	160,912
役員賞与引当金	14,800	—	—
設備関係支払手形	285,290	334,471	142,189
設備関係未払金	6,638	6,667	70,612
固定負債	326,332	389,272	433,611
長期借入金	35,750	39,850	126,940
繰延税金負債	1,259	66,922	20,077
退職給付引当金	111,923	114,783	128,329
役員退職慰労引当金	131,609	122,975	114,380
預り保証金	45,789	44,740	43,884
負債合計	4,358,197	4,592,479	4,724,718
(資本の部)	—	1,447,280	1,447,280
資本金	—	1,721,281	1,721,281
資本剰余金	—	1,721,281	1,721,281
資本準備金	—	—	—
利益剰余金	—	8,590,884	8,131,498
利益準備金	—	180,076	180,076
任意積立金	—	7,144,706	7,144,706
別途積立金	—	7,144,706	7,144,706
中間(当期)未処分利益	—	1,266,102	806,716
その他有価証券評価差額金	—	360,633	298,630
自己株式	—	△ 43,174	△ 43,075
資本合計	—	12,076,905	11,555,615
負債及び資本合計	—	16,669,384	16,280,333
(純資産の部)	—	—	—
株主資本	12,150,281	—	—
資本金	1,447,280	—	—
資本剰余金	1,721,281	—	—
資本準備金	1,721,281	—	—
利益剰余金	9,024,894	—	—
利益準備金	180,076	—	—
その他利益剰余金	8,844,817	—	—
別途積立金	7,894,706	—	—
繰越利益剰余金	950,111	—	—
自己株式	△ 43,174	—	—
評価・換算差額等	270,469	—	—
その他有価証券評価差額金	270,469	—	—
純資産合計	12,420,750	—	—
負債・純資産合計	16,778,947	—	—

## 比較中間損益計算書

(千円未満切捨表示)

期 別 科 目	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前 期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
	千円	千円	千円
売上高	7,415,520	7,629,114	15,008,256
売上原価	5,005,672	5,441,830	10,457,355
売上総利益	2,409,847	2,187,284	4,550,900
販売費及び一般管理費	1,433,899	1,366,884	2,746,510
営業利益	975,948	820,399	1,804,390
営業外収益	45,109	50,904	106,431
受取利息	12,157	11,728	32,802
その他の営業外収益	32,952	39,176	73,628
営業外費用	24,609	27,637	60,139
支払利息	2,258	2,707	4,889
その他の営業外費用	22,350	24,930	55,249
経常利益	996,448	843,666	1,850,682
特別利益	1,336	2,463	1,437
固定資産売却益	23	—	—
資産受贈益	1,312	—	—
貸倒引当金戻入益	0	2,463	1,437
特別損失	13,762	9,884	57,107
固定資産売却損	—	67	67
減損損失	—	1,753	1,753
固定資産除却損	11,442	8,064	55,287
電話加入権評価損	2,320	—	—
税引前中間(当期)純利益	984,021	836,245	1,795,012
法人税、住民税及び事業税	387,471	322,446	678,718
法人税等調整額	△ 5,858	△ 4,707	4,842
中間(当期)純利益	602,409	518,505	1,111,451
前期繰越利益	—	288,210	288,210
中間配当額	—	—	133,560
中間(当期)未処分利益	—	806,716	1,266,102

## 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)

(千円未満切捨表示)

項 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	1,447,280	1,721,281	8,590,884	△ 43,174	11,716,271
中間会計期間中の変動額					
別途積立金の積立			—		—
剰余金の配当			△ 133,559		△ 133,559
役員賞与の支給			△ 34,840		△ 34,840
中間純利益			602,409		602,409
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)					
中間会計期間中の変動額合計	—	—	434,009	—	434,009
平成18年9月30日残高	1,447,280	1,721,281	9,024,894	△ 43,174	12,150,281

項 目	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金		純資産 合計
	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	360,633	360,633	12,076,905
中間会計期間中の変動額			
別途積立金の積立			—
剰余金の配当			△ 133,559
役員賞与の支給			△ 34,840
中間純利益			602,409
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	△ 90,164	△ 90,164	△ 90,164
中間会計期間中の変動額合計	△ 90,164	△ 90,164	343,845
平成18年9月30日残高	270,469	270,469	12,420,750

## 比較中間キャッシュ・フロー計算書

(千円未満切捨表示)

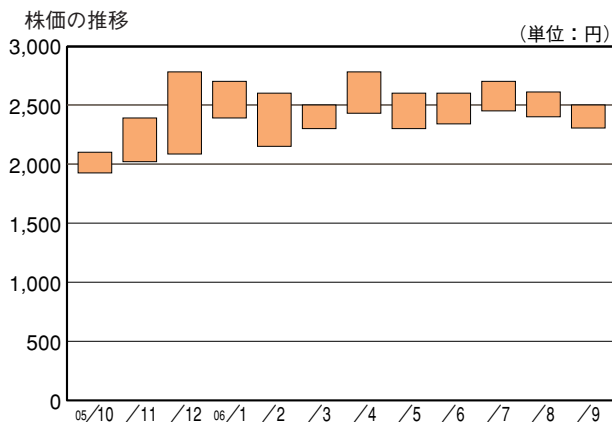
期 別 科 目	当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前中間期 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)	前 期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
	千円	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	416,355	373,502	1,303,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 600,764	90,456	△ 942,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 187,068	△ 192,933	△ 447,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,950	5,459	7,509
現金及び現金同等物の増減額	△ 366,528	276,485	△ 79,158
現金及び現金同等物の期首残高	3,032,881	3,112,040	3,112,040
現金及び現金同等物の期末残高	2,666,352	3,388,525	3,032,881

## 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 15,650,000株  
 ② 発行済株式の総数 7,460,440株  
 ③ 当中間期末株主数 1,573名  
 ④ 単元株式数 100株  
 ⑤ 大株主の状況

株主名	持株数	出資比率
	千株	%
スティーロパートナーズジャパンストラテジックファンドオブショアエルビー	505	6.7
日本生命保険相互会社	379	5.0
石原薬品取引先持株会	373	5.0
株式会社三井住友銀行	366	4.9
石原薬品従業員持株会	263	3.5
株式会社みずほコーポレート銀行	223	2.9
第一生命保険相互会社	211	2.8
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.8
株式会社池田銀行	200	2.6
川村邦子	161	2.1

## ⑥ 株価チャート



## 会社の概況 (平成18年9月30日現在)

商号 石原薬品株式会社  
 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.  
 創業 明治33年4月15日  
 設立 昭和14年3月3日  
 資本金 14億4千7百28万円  
 株主数 1,573名  
 従業員数 187名

## 事業所 (平成18年9月30日現在)

本社 神戸市兵庫区西柳原町5番26号  
 東京支店 東京都台東区台東2丁目26番11号  
 滋賀工場 滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1

## 役員 (平成18年9月30日現在)

代表取締役社長 竹森莞爾  
 代表取締役専務取締役 時澤元一  
 常務取締役 松村伊佐雄  
 取締役 浅野真司  
 取締役 酒井保幸  
 取締役 大竹祥司  
 常勤監査役 福田英章  
 監査役 井上浩三郎  
 監査役 菱田正  
 監査役 岡本茂登

インターネットホームページアドレス  
<http://www.unicon.co.jp/>